

電気電子システム工学科 アドミッション・ポリシー

電気電子システム工学科は、今日の電気・電子・情報工学の進歩に対応でき、明日の電気・電子・情報工学を開拓できる知識と実践力を持つエンジニアを世に送り出すことを目的としています。電気工学と電子工学は、情報工学と融合する形で目覚ましい発展を遂げており、その領域も多岐にわたります。そのため単なる一分野の専門知識だけでは不十分であり、今後は幅広い専門分野の知識がますます重要となります。さらに現代社会では、人や環境に調和した技術の開発が求められています。

求める人物像

1. 広く電気・電子・情報工学に興味を有する人で、行動力のある実践的なエンジニアをめざす人
2. これまでに学んできた知識を進化させて「ものづくり」に応用する意識のある人
3. 人や地球環境に配慮した工学技術に興味を持ち、持続可能な社会の発展に貢献する技術者をめざす向上心のある人

入学前に学習しておくことが期待される内容

電気電子システム工学科に入学するまでに、以下に記した能力を身に付けておくことを求めます。

1. 数学は、「数学Ⅲ」と「数学 C」までを履修していることが望ましい。人間の目では見ることができない電気・電子の振る舞いの多くは数式で表現するため数学は重要である。特に三角関数や指数関数の微積分、複素数、ベクトルは修得していることが望ましい
2. 理科は、「物理」を履修していることが望ましい。特に電気と磁気が重要である。また電気を使ってモノを動かすときには剛体の力学も重要となる。さらに「化学」も履修していることが望ましい。例えば電気抵抗の小さいあるいは大きい特殊な材料を考える上で重要となる。この他に「生物基礎」の学習も分野によっては望まれる
3. 英語は、基本的な読解能力とコミュニケーション能力を有していること。特に今後のグローバル社会において、英語によるコミュニケーション能力は重要となる。一般入試問題に出題されているような英文の読解力とコミュニケーション能力、平易な英作文能力を有していることが望まれる
4. 国語は、基本的な読解力、論理的な作文・会話能力を有していること。複数名で行う実験実習では、コミュニケーションが必要となり、基本的な口頭表現力が求められる。さらに報告書作成の際には文章にまとめることも必要となるため重要である